

【部課名：市長公室秘書広報課】

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
新年互礼会事業		市関係者並びに市内にある企業、団体の関係者が相互に交流を深め、市政の協力依頼及び意見・情報交換等を行い、市政の円滑な推進を図る。			指標	総計の現状値	R7実績値	商工会議所との共催のもと、市内の事業者、市関係団体の代表者等236人が参加し、意見・情報交換を行い、相互に交流を深めることができた。	当該事業は、年始の挨拶を通じて参加者が相互に意見・情報交換を行い、交流を深めることが目的であることから、より充実した会が開催できるよう、共催である泉大津商工会議所との協議が必要である。
総合計画の位置づけ									
基本目標									
個別目標									
個別目標の方向性									
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
有功者表彰事業		市民が主体に活躍できるまちをめざし、永年、市の行政、教育、文化、産業及び社会福祉などの向上、その他公益に関し、その功労が顕著な者に対して市民とともに表彰することで、目標や励みとなるほか、市政への理解を深めてもらい市民の意識高揚を図ることを目的とする。			指標	総計の現状値	R7実績値	81人の賛同者が出席のもと、表彰式典及び祝賀会を開催し、民生関係功労者1名に対し、表彰状、有功章及び記念品を贈呈した。市民にとって目標や励みとなるだけでなく、市政への理解を深めてもらう機会となり、市民の意識高揚に繋がった。	永年にわたり、本市の発展、進展に寄与された方の功績を称える表彰式典であり、今後も継続して行う。賛同者の参加申込方法や会場設営・運営方法などについては、より良い式典が開催できるよう検討が必要である。
総合計画の位置づけ									
基本目標									
個別目標									
個別目標の方向性									
事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
広報活動事業		すべての市民に情報が届けられるまちをめざし、ホームページやSNSを活用し、行政情報や本市の魅力などをより多く提供することで市民の利便性向上を図る。また、さまざまな情報を随時、公開・公表することで行政の透明化を図ることを目的とする。			指標	総計の現状値	R7実績値	プロを講師に招いた「インフルエンサー養成講座」を実施し、市民の発信スキルを底上げしたことで、IZUMIOTSUインフルエンサーの登録数が増加し、市民目線の市の魅力発信に繋がった。さらに、「IZUMIOTSU NEWS」の活用やプレスリリースの継続的な配信、民間事業者との連携を通じ、市外への露出機会を確保することで、市の認知度向上に寄与した。	令和5年度からシティプロモーションを強化し、市外での認知度向上、イメージアップについては成果が出てきている。今後は市民のシンビックプライド醸成に向けて、市民が市の魅力を再発見し、住み続けたいと思ってもらえるよう、広報紙とIZUMIOTSU NEWSを連動させ、市の取組み、地域の資源や施設の魅力を紹介する企画を展開する。
総合計画の位置づけ									
基本目標									
個別目標									
個別目標の方向性									

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
広報紙発行事業		市の重要施策や行政情報などを広く市民に伝え、市政への理解促進や生活関連情報、イベントなどの情報を市民に提供することを目的とし、自治会での配布、個人からの申し出によるポスティング、公共施設等に配架し、一人でも多くの人に配布する。		指標	総計の現状値	R7実績値	広報紙の配布実数は、大きく増減することなく推移しているが、内訳としてポスティングが、わずかだが増加傾向にある。公共施設、市内の公共交通機関の駅、スーパーマーケットにも配架し、多くの市民に広報紙を手にとってもらえるようにしている。また、HPへの掲載、毎月1日にはLINE登録者に広報紙発行のお知らせも行い、いつでも、どこでも、手軽に見てもらえるようにしている。	市政情報への関心と理解を促進するため、LINEアンケートで得た市民の声を反映し、わかりやすい紙面づくりを推進する。また、読みやすいだけでなく、読みたくなる広報紙を目指し、広報担当が取材を行い、特集記事を担当課とともに作る等を行い、訴求力を高める。さらに、ページ数増加に伴う情報の埋没を防ぐため、掲載内容の精査を徹底し、伝えたいことがより確実に伝わる効率的かつ効果的な広報紙の作成を目指す。
総合計画の位置づけ				泉大津市に住み続けたいと思う市民の割合	86.5%	86.2%		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち							
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標の方向性	市政の情報や魅力を市民の関心を引くよう工夫を凝らして届けることでシビックプライドを醸成します	R6決算額	34,947	31,701				
		R7決算見込額	34,579	31,333				
		R8予算額	36,627	33,381				

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
マスコットキャラクター運営事業		マスコットキャラクター「おづみん」を活用し、毛布とニットのまち泉大津を市内外にPRするとともに、各種イベントへの参加やイラストを活用いただくことで、市民の郷土愛の醸成や市内外へのシティプロモーション（地域のPR）を行う。		指標	総計の現状値	R7実績値	市のマスコットキャラクターを活用し、市内外のイベントへの参加や、xアカウント「おづみん@泉大津市【公式】」、Instagramアカウント「魅力発信泉大津」での情報発信を行い、新たに合計2800人以上のフォロワーを獲得、市の認知度向上に寄与することができた。また、市内のイベントやそのチラシへの活用の増加により、市内での愛着形成に成果があった。	マスコットキャラクター「おづみん」を活用した広報活動を継続し、シティプロモーションとして市政情報の拡散力を一層強化する。SNS運用においては、発信内容が形骸化することを防ぐため、最新のトレンドやユーザーの反応を鋭敏に捉え、親近感を醸成する双方向性の高い投稿に注力する。各媒体の特性や利用層に合わせた最適なアプローチを多角的に展開することで、市の魅力の再発見とおづみんの認知度向上を戦略的かつ効果的に推進していく。
総合計画の位置づけ				SNSのフォロワー数（累計）	77,235人	84,294人		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち							
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R6決算額	2,057	330				
		R7決算見込額	1,148	614				
		R8予算額	1,595	560				

事業名		事業目的/概要		総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
泉大津市ふるさと応援寄附事業		柔軟で健全な行財政運営をめざし、ふるさと納税による寄附促進と地元特産品等のPR促進及び販売促進との相乗効果を図る。泉大津市を応援し、ふるさと応援寄附を行っていただいた方に謝礼としてふるさと産品を進呈する。ふるさと納税制度への参加促進及び新たな返礼品の創出や改良を行うことで、安定的な寄附金の獲得に努める。		指標	総計の現状値	R7実績値	寄附金額及び寄附件数の増加を目的に、職員による事業者訪問や補助金制度の活用促進を通じて返礼品の充実に取り組んだ。また、中間事業者の知見を活かした返礼品画像の改良や広告、現地決済型ふるさと納税の導入、メールマガジンや小冊子による情報発信など、多様な施策を実施した。寄附金額は前年度を下回ったものの、寄附件数は前年度を上回り、本市のファン獲得に繋がった。	ポータルサイトのポイント制度の廃止や、経費率の見直し等により、ふるさと納税を取り巻く環境が厳しくなる中、返礼品の開発・充実を進めるとともに、広告やSNSを効果的に活用した情報発信を強化する必要がある。また、体験型ふるさと納税の充実や補助金を活用した新たな返礼品の開発、YouTubeや広報紙等を活用した情報発信に取り組み、寄附額及び市の認知度向上につなげていく。
総合計画の位置づけ				SNSのフォロワー数（累計）	77,235人	84,294人		
基本目標	地域資源を活かしたにぎわいが生まれ再生発展するまち							
個別目標	地域資源を活かしながら新しい風とにぎわいが生まれるまち	事業費（うち市負担額）【千円】						
個別目標の方向性	市の魅力を強力に発信し行ってみたい住みたいと思われるまちを目指します	R6決算額	340,611	0				
		R7決算見込額	302,672	0				
		R8予算額	499,510	0				